

2023 年 期 生 (J1) 各 位

## ( 3 / 1 6 実 施 ) 2023 年 期 デ ィ ス カ ッ シ ョ ン そ の 2 に つ い て

「ディスカッションその2」は下記要領にて行います。天満研修センター2階の受付で補習生カードを通してから指定された教室へ移動してください。

### 記

ディスカッションその2のテーマは下記のとおりです。どちらのテーマ(テーマ1、テーマ2)、どちらの立場(A派、B派)を担当することになっても、活発な議論が出来るように事前に情報収集に努め自身の考えをまとめたうえで、出席して下さい。テーマの割り当ては、当日講師が決定します。

#### 【テーマ1】

監査手続に瑕疵があったことから、経営者不正による重要な虚偽表示を発見できなかったケース(A)と、監査手続に瑕疵があったことから、従業員の誤謬による開示上の重要な虚偽表示を発見できなかったケース(B)とでは、監査人の責任は、どちらの方が重くあるべきだと考えますか。なお、A・Bいずれの虚偽表示についても、十分かつ適切な監査手続を実施していれば、発見可能なものであったと仮定する。

また、Bの開示上の重要な虚偽表示は、監査人でなくとも、開示された情報のみで、外部の者であっても発見可能な初歩的なミスであったとする。

A 経営者不正による重要な虚偽表示を発見できなかったケース

B 従業員の誤謬による開示上の重要な虚偽表示を発見できなかったケース

#### 【テーマ2】

あなたは監査チームの主査である。ある論点に関して、会社の経理担当者と議論し、会社が行っている処理で問題ないという見解を伝えていました。しかし、パートナー(もしくは審査担当者)から会計基準に記載している事項をそのまま読めば現状の処理で問題ないものの、会計基準設定時の議論では今回のケースを対象としていなかったような記憶があるので、現状の処理は認められないと言われました。なお、パートナー(もしくは審査担当者)の見解は本人の記憶に基づくもので、会社担当者が確認できる範囲での公式記録や会計基準のどこにも記載されていない内容である。

このような場合、あなたがとるべき対応について、A派、B派に分かれて議論しなさい。

A派：現状の会社処理で決着できるようにパートナー(もしくは審査担当者)を説得する。

B派：パートナー(もしくは審査担当者)が主張する処理への修正を会社に求める。

会場：天満研修センター 9時30分～12時30分

当日の出席確認等の手順について(ディスカッション・ゼミナール共通)

受付で、「補習生カード」をQRリーダーに通す。

各会場での座席位置は、別紙で指定された教室に入り、グループの島に着席してください。

以上